

恋文（1953）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 98分
初公開日 1953/12/13
公開情報 新東宝

【解説】
田中絹代の第一回監督作品。丹羽文雄の同名小説を木下恵介が脚色した。成瀬巳喜男が脚本に手を入れ、笠智衆や入江たか子などそうそうたるメンバーがカメオ出演を果たしている。年老いた洋妾役で田中絹代本人も出演。
戦争から帰還したエリート軍人の真弓礼吉は、弟の洋のアパートに身を寄せながら、山路の仕事を手伝っていた。山路は兵学校時代の友人で、洋妾(外人相手の娼婦)から米兵へのラブレターの代筆を生業としていた。ある日、山路の店へ道子がやってくる。彼女は戦前、礼吉と付き合っていた恋人で、他の男と結婚したはずだった。どうして自分を捨てて他の男と結婚したのか、どうして米兵相手の洋妾になったのか。変わり果てた道子に激怒し、礼吉は酒におぼれるようになってしまう。

【クレジット】
監督 田中絹代
製作 永島一郎
原作 丹羽文雄 「恋文」
脚本 木下恵介
撮影 鈴木博
美術 進藤誠吾
音楽 斎藤一郎
出演 森雅之 真弓礼吉
加島春美 礼吉の少年時代
夏川静江 母
宇野重吉 山路直人
久我美子 久保田道子
香川京子 保子
田中絹代 下宿のおばさん
関千恵子 事務員風の女
中北千枝子 レストランの女
花井蘭子 とんかつ屋の主人
木下恵介 写真屋
道三重三 洋